

2023 年度 小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	株式会社シェルパ	代表者	石川 洋一	法人・事業所の特徴	お客様の「自分らしさ」の提供を中心とした支援を実施しております。「どのようにすれば自宅で生活ができるか？」などの不安を「医療連携」「生活リハビリ」「包括支援システム」などの支援を行いながら、本人が本人らしく生活できる様サポートしております。
事業所名	ぼやあ樹神大寺（神奈川区）	管理者	矢吹 祐太		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	人	人	人	人	1 人	1 人	人	4 人	人	6 人

項 目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	家族や利用者様より頂いた意見を基により良いサービスを提供できるよう話し合い、実行する。	いただいた意見に対して真摯に対応することができたが話し合いをしてさらに良いサービスを考えることはできなかった。	人権、プライバシーについて、利用情報が筒抜けになっているという記載が気になります。	家族や利用者様より頂いた意見を基により良いサービスを提供できるよう話し合い、実行する。
B. 事業所のしつらえ・環境	引続き感染症が拡大することがないように事業所内を掃除し、清潔な環境にする。	毎日消毒チェック表を用いて事業所内の消毒を徹底することによって感染症が拡大することはなかった。	新型コロナウイルス感染症の5類感染移行により、様々な方が来られると思いますが感染が広がらないよう対策して欲しいです。	引続き感染症が拡大することがないように事業所内を掃除し、清潔な環境にする。
C. 事業所と地域のかかわり	ホームページの更新を毎月1回は必ず行い、家族だけでなく地域の方にも活動内容を公開し、知っていただく。	概ね一か月に一回ホームページを更新することができた。	毎日、連絡ノートを見ることを楽しみにしています。ホームページも毎月、拝見しています。	毎月の回覧板に目を通し勉強会や地域活動に参加する。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	利用者様と地域の関係を希薄にしないように、外出レクやケアプラザのイベントへの参加を検討する。	不定期ではあるが近隣の公園へ散歩に行くことができた。	外出する機会を増やしてもらえると嬉しいです。	新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行になったため、外出する機会を増やしていく。

E. 運営推進会議を活 かした取組み	頂いた意見を真摯に受取り、事 業所の運営をより良いものにす る.	頂いた意見を運営に反映すること ができた。	今年から対面の開催になった ので一年の間に一度でも参加 できればと思っています。	2 ヶ月に 1 回の運営推進会議を 開催していく。
F. 事業所の 防災・災害対策	感染症による社会情勢を鑑みつ つ、防災訓練を事業所にて開催 できた際は家族や、民生委員、 地域の方に参加して頂けるよう にする。	感染症の影響で近隣の方に参加し ていただくことができなかった。	防災訓練を行う際は声をかけて 下さい。 参加します。	防災訓練を事業所にて開催でき た際は家族や、民生委員、地域 の方に参加して頂けるようにする。